

SPT受入水移送ポンプ（A）からの漏えいについて

2019年2月28日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

概要及び状況

■ 概要

- 2019年2月22日、SPT受入水移送ポンプ（A）取替工事後の運転確認を実施したところ、配管フランジ部より飛散し、外堰内に漏えいした。
- 当該ポンプが設置されている場所は内堰、外堰があり、内堰はアクリル製の小屋が設置されている。ポンプから漏えいした水は飛散により、小屋の壁にあたり、内堰とアクリル製の壁の隙間から、外堰内に漏えいした。

■ 状況

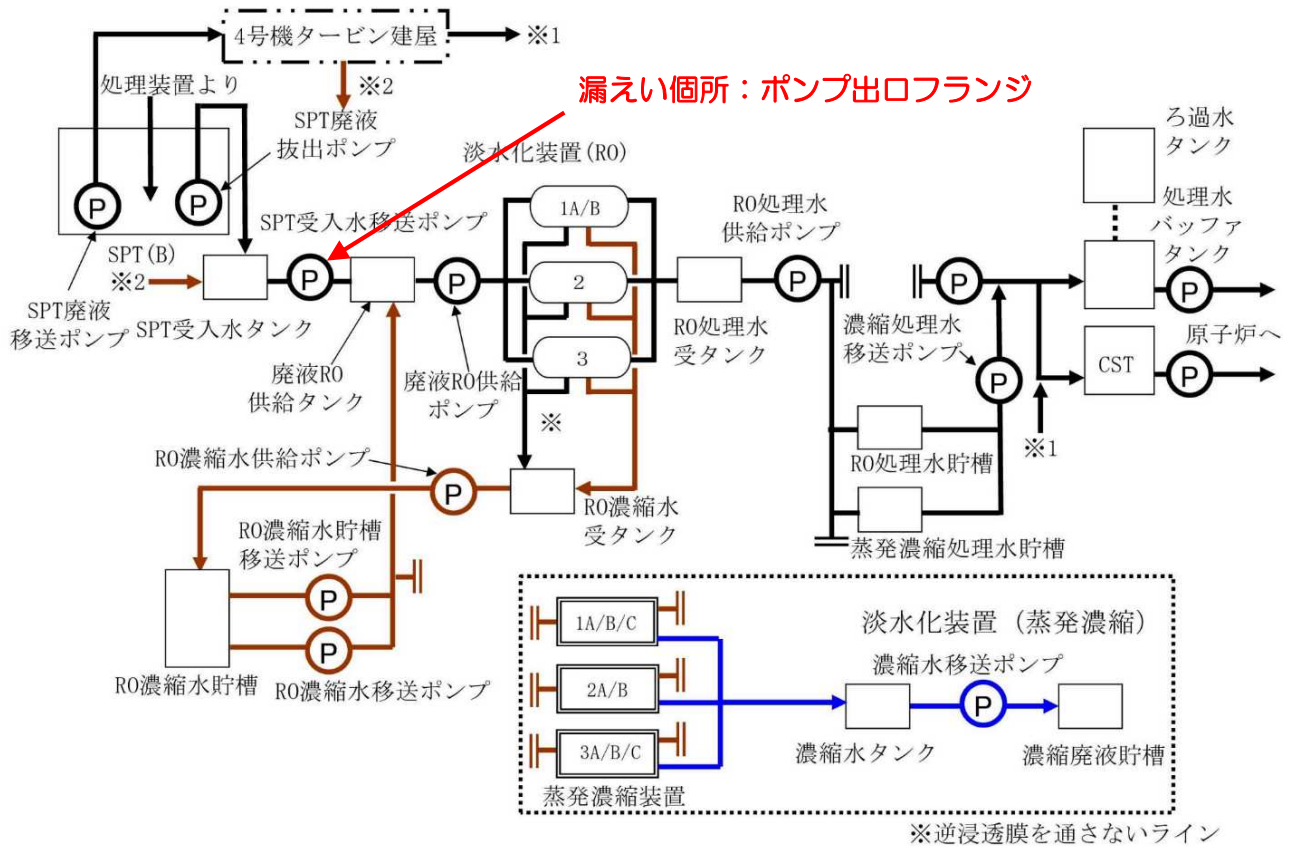
- 発見時刻：2019年2月22日 10時21分頃
- 漏えい個所：SPT受入水移送ポンプ（A）出口フランジ部
- 漏えい範囲：外堰内には雨水が溜まっており、外堰内に漏えいした水が雨水と混じり合っている状況。
- 漏えい継続の有無：なし
- 外部への影響：外堰には排水弁が設置されており、「開」状態であったが外堰の外に漏えいなしと判断。

（参考：2/14 建屋内RO濃縮水）

Cs-134	2.40E-01 (Bq/cc)
Cs-137	2.86E+00 (Bq/cc)
全β	4.96E+01 (Bq/cc)

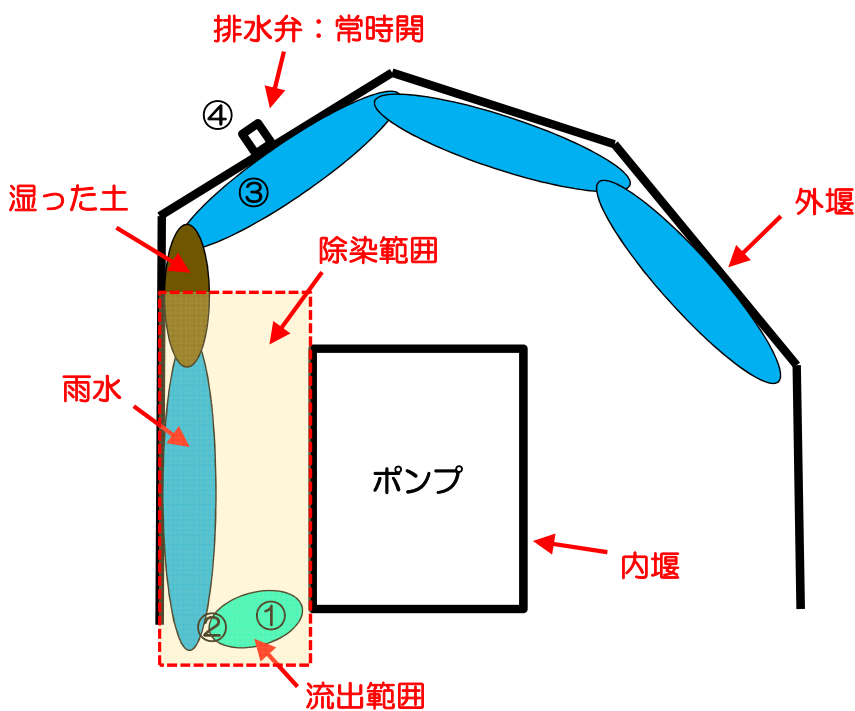
TEPCO

漏えい箇所



2

現場状況



スミヤ測定結果

【発生時】

- ① 730cpm
- ② 350cpm
- ③ 200cpm (BG)
- ④ 200cpm (BG)

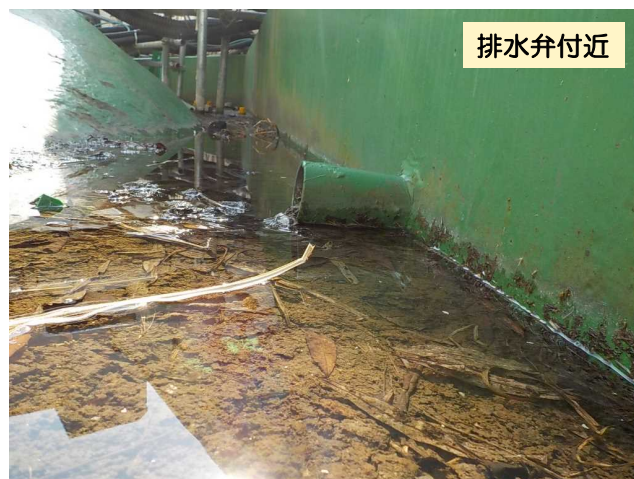
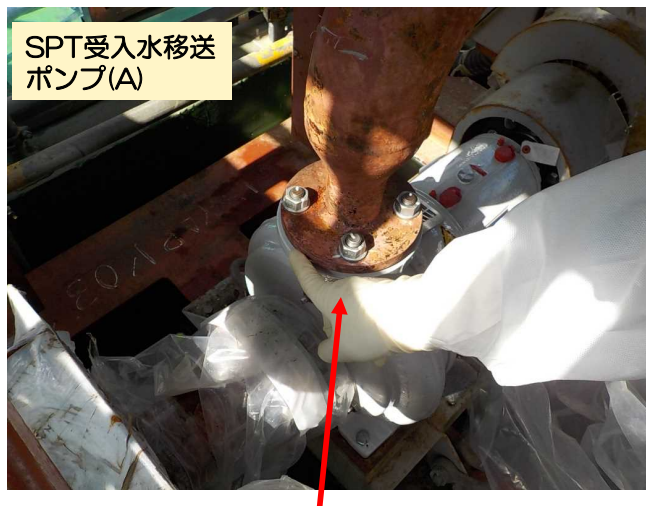
【除染後】

- ①～④ 200cpm (BG)

3

漏えいの状況

■漏えいの状況



漏えい箇所：ポンプ出口フランジ部

■今後の対応

- ・漏えいに至った原因の究明を行う。
- ・試運転時の漏えい対策について検討を行う。